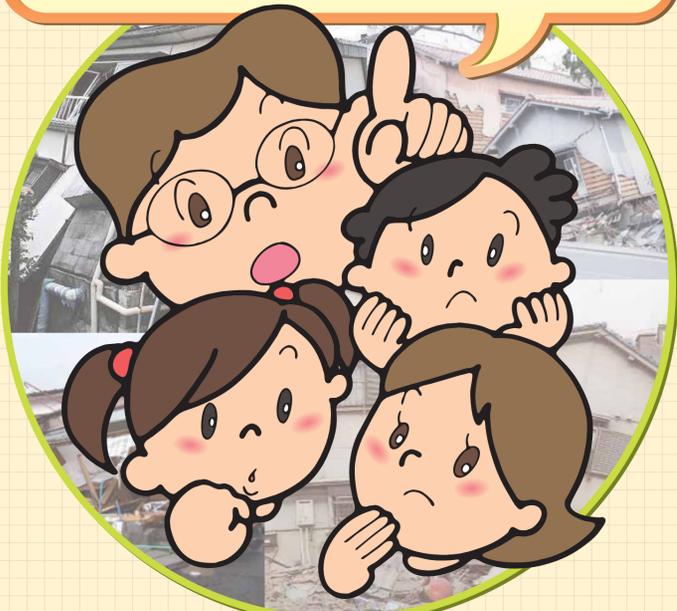


# 地震防災マップ

地震…あなたはしっかり備えていますか？



ご不明な点は、八百津町役場建設課、経営管理課防災安全対策室までお問合せください。

TEL: 0574-43-2111 (代表) FAX:0574-43-0969 E-mail: yaotsu@town.yaotsu.lg.jp

【発行】平成20年2月

## 揺れやすさマップ

(最大震度分布図)

揺れやすさマップ利用にあたり…

この「揺れやすさマップ」は、八百津町の地形や地盤の状況を約50m四方のメッシュ毎にモデル化し、「複合型東海地震」・「阿寺断層による地震」・「八百津町直下の地震」それぞれを想定したときの震度予測結果から作成しました。マップ上には3つの地震の中で最大となる八百津町直下の地震による揺れを図にしています。

このマップをご覧になって、家族や地域での地震対策に活用してください。

### 想定した地震と八百津町の揺れやすさ

#### 1 複合型東海地震

東海地震はいつ起きてもおかしくない地震、東南海地震は今後30年以内に発生する確率が60～70%の地震とされています。これらの地震は過去に何回か連動して発生しており、今後も連動して起こる可能性があります。

東海地震と東南海地震が連動して発生したマグニチュード8クラスの地震を想定しました。八百津町では、川沿いや谷あいの低地部で震度5強の揺れが予想されます。

#### 3 八百津町直下の地震

マグニチュード6クラスの地震を発生させる活断層は未だ確認されていないものが多く、どこで発生するかわからないのが現状です。そこで、内閣府「地震防災マップ作成技術資料」に基づき、八百津町直下のマグニチュード6.9の地震を想定しました。

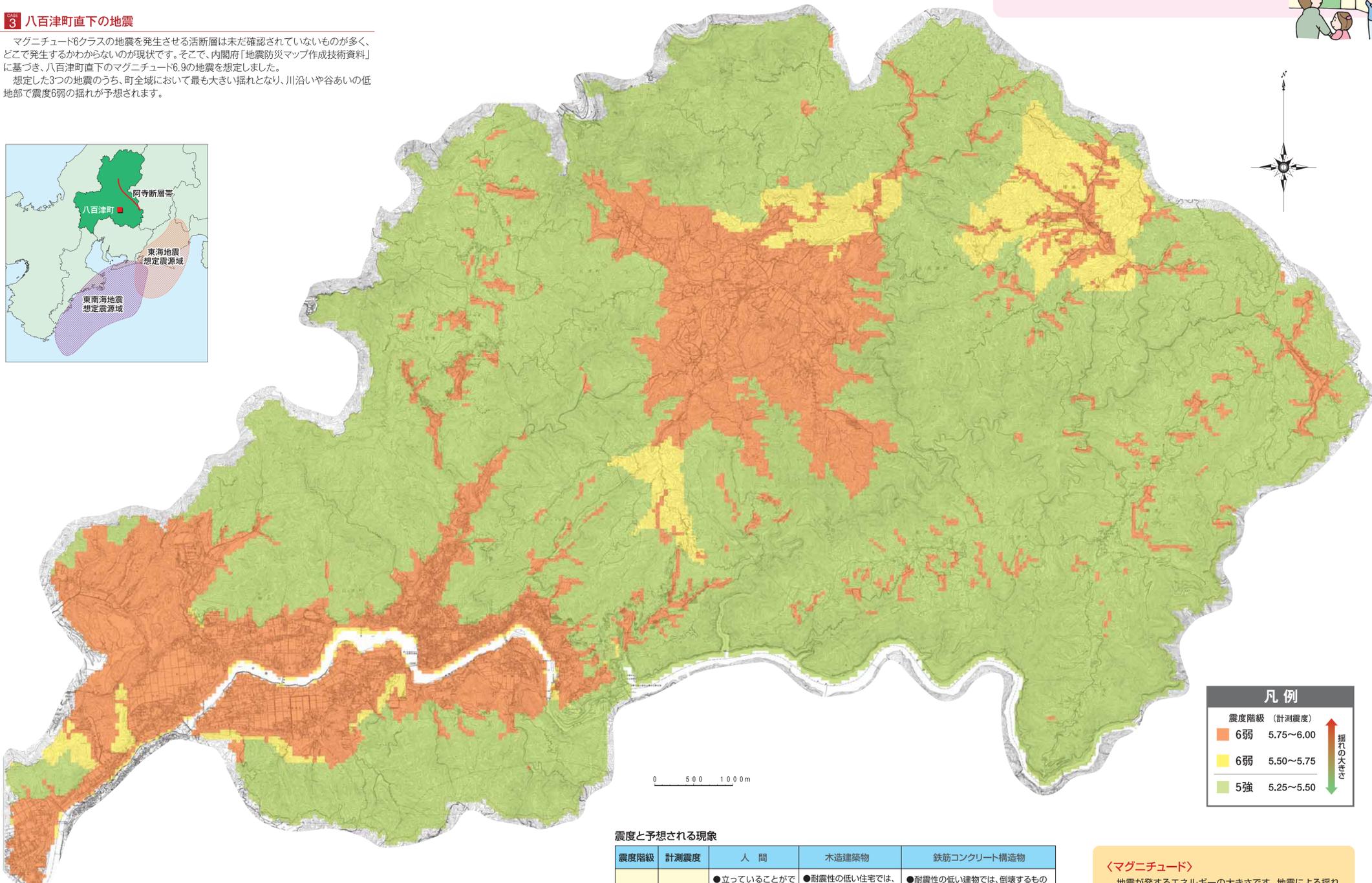
想定した3つの地震のうち、町全域において最も大きい揺れとなり、川沿いや谷あいの低地部で震度6弱の揺れが予想されます。



#### 2 阿寺断層による地震

阿寺断層は、八百津町の北東部に位置する全長約70kmの活断層です。この断層による地震としてマグニチュード7.8を想定しました。

阿寺断層による地震が発生する確率は低ですが、町のほぼ全域で震度5強の揺れが予想されます。



| 震度階級 (計測震度)  | 揺れの大きさ           |
|--------------|------------------|
| 6弱 5.75～6.00 | ↑<br>揺れの大きさ<br>↓ |
| 6弱 5.50～5.75 |                  |
| 5強 5.25～5.50 |                  |

### 地震が起きる前に

#### 日ごろの備え

避難生活最初の約3日間は、自力で生活することになるかもしれません。何をどれだけ準備しておけばよいか、家族で話し合ってみましょう。

#### 非常持出品

避難時にまず持ち出す

- 生活用品
  - 衣類・下着 タオル ティッシュ
  - 懐中電灯 携帯ラジオ・予備乾電池など
- 貴重品
  - 現金(要10円玉) 通帳・印鑑
  - 権利証書 健康保険証など
- 非常食関係
  - 飲料水 乾パン
  - 紙皿など食器 缶切りなど
- 救急医薬品
  - 傷薬・包帯・ばんそうこう
  - かぜ薬・胃腸薬など

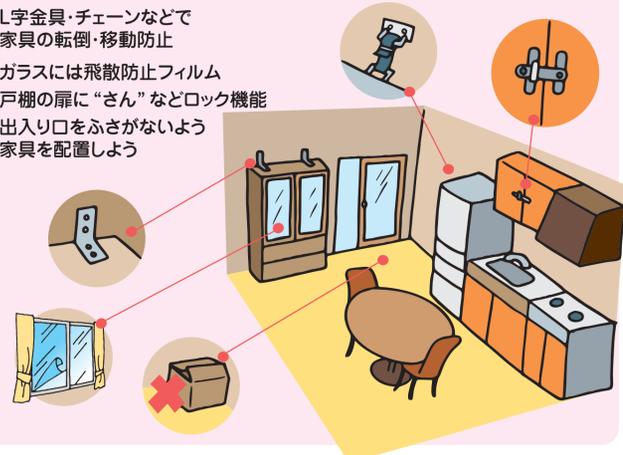
#### 非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)分準備する

- 生活用品
  - 毛布・寝袋 新聞紙 洗面用具
  - 鍋・やかん トイレ用ペーパー
  - 筆記用具・バケツなど
- 非常食
  - 飲料水(1人1日3リットルを目安に)
  - 保存食(缶詰やレトルト食品など)
  - チョコレートなどの菓子類
  - 調味料など
- 燃料
  - 卓上コンロ 携帯コンロ
  - ガスボンベ 固形燃料など

#### 家具の固定方法など

- L字金具・チェーンなどで家具の転倒・移動防止
- ガラスには飛散防止フィルム
- 戸棚の扉に“さん”などロック機能
- 出入り口をふさがらないよう家具を配置しよう



### 八百津町直下の地震による揺れ

#### 震度と予想される現象

| 震度階級 | 計測震度    | 人間                                  | 木造建築物                                                   | 鉄筋コンクリート構造物                                                             |
|------|---------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 6強   | 6.0～6.5 | ●立っていることができず、はわないと動くことができない。        | ●耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。<br>●耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。 | ●耐震性の低い建物では、倒壊するものがある。<br>●耐震性の高い建物でも、壁、柱が破壊するものがある。                    |
| 6弱   | 5.5～6.0 | ●立っていることが困難になる。                     | ●耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。<br>●耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。    | ●耐震性の低い建物では、壁や柱が破壊するものがある。<br>●耐震性の高い建物でも壁、梁(はり)、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。    |
| 5強   | 5.0～5.5 | ●非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。         | ●耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。                       | ●耐震性の低い建物では、壁、梁(はり)、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。<br>●耐震性の高い建物でも、壁などに亀裂が生じるものがある。 |
| 5弱   | 4.5～5.0 | ●多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。 | ●耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。                              | ●耐震性の低い建物では、壁などに亀裂が生じるものがある。                                            |

＜マグニチュード＞  
地震が発するエネルギーの大きさです。地震による揺れの大きさはマグニチュードと震源からの距離で変わります。

＜震度＞  
地震時の揺れの大きさの程度を表したものです。観測点における揺れの強さを数値化した計測震度から換算されるものです。